
夜が明けるまで

猿読み

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夜が明けるまで

【Nコード】

N4566B

【作者名】

猿読み

【あらすじ】

いつしか世界は夜が明ける事がなくなってしまった。太陽がなくなつた世界の話

「お母さん、いつになったらお父さん起きるの？」

植物状態の父親の横で少年が言った。

「そうね……………夜が明けるまで、かしら」

母親は病室の窓から、決して明ける事のない夜空を見て言った。

「真司！ねえ真司！しっかりして、死なないで！」

彼女は銃で撃たれた彼の傷口を押さえ、泣きながら言った。

「大丈夫だよ……………こんな傷……………少し休めばすぐ治る……………」

瀕死の傷を負いながら、必死に笑顔をつくり、震える手で彼女の涙を拭った。

「真司！しっかりして、眠っちゃダメだよ。真司！」
彼のまた笑顔を作り言った。

「そつだ……………夜が明けたら……………遊園地行こう。」

それまで少し寝かせてくれ……………少しだけ……………」

彼は決して明ける事のない夜空を見上げて言った。

「なあ看守さんよ！俺はいつになったらこっから出られるんだ？よ
お、聞いてんのかコラ！」

監獄の中から、からかうように囚人が言った。

看守は無視をしてテレビを見ていた。

「なあ〜頼むよお〜教えてくれよお〜。裁判の時、俺ヤクでラリっ
ててよく覚えてないんだよお〜頼むよお〜看守ちゃん」

看守はテレビを見たまま独り言のように言った。

「夜が明けるまでだ……………」

囚人は少し笑うとホコリばいベットに横になった。

翌日、決して明ける事のない夜が明けた。
太陽が東の空からゆっくりと顔を出した。

「ねえお母さん！夜が明けたよ！」

病室の窓から見える太陽に少年ははしゃいだ。

しかし母親は涙を流しその場に座りこんだ。

「プーーーーー」

心臓の停止を告げる音が病室に響き渡る。

「お母さん、まだお父さん起きないの？」

不思議そうに少年が言った。

「もう……お父さんは……一度と起きないのよ。」
「嘘つき」

少年の言葉は、白く光る病室に深く染み渡った。

彼女の背中から朝日がゆつくりと上がる。

「真司……起きて……朝だよ……」

彼女の腕の中で青白くなった彼の脱け殻は、何も言わずに静に寝ていた。

彼女は彼を背中にせよい、そのままビルの屋上から落ちた。

彼女は落ちていく中言った。

「嘘つき」

その言葉は地面に落ちる醜い音と共に消えていった。

「おい！看守ちゃん！夜が明けまちゆたよ」

囚人はゲラゲラ笑いながら看守に言った。

看守は無表情で言った。

「そうだな。行くか」

そうして囚人を監獄から出した。

「よし、外の世界へレッツ・ゴー」

囚人ははしゃいだ。

看守がほくそ笑む

「誰か外って言った。たしかに監獄は出してやったけど、これからお前が向かうのは……………死刑台だ。」

囚人から笑顔が消えた。

囚人は護送の警官に両脇を押さえられ、死刑台に引きずられていった。

看守がにこやかに手を振った。

「嘘つき」

囚人の言葉は引きずられる音と共に、つめたいコンクリートの中に消えていった。

(後書き)

この作品は、サイレントストーリーのように、最後は三つのストーリーが一つになるようにしたかったんですが、オチが考えつかず、「嘘つき」の言葉で締め括るような形になってしまいました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4566b/>

夜が明けるまで

2010年10月14日15時51分発行